

ひとりひとりが個性と能力を十分に発揮し、誰もがいきいきと活躍できる社会をつくるためには、どうしたらよいのでしょうか？

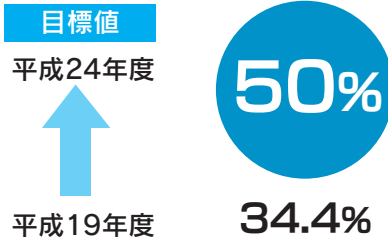
本年度策定した新長浜市男女共同参画行動計画（ヒュー・ウーマンプラン）から、その施策についてご紹介します。

■行動その1 性別だけで役割を決めない意識を広める

まず求められるのは、《**男女の人権の尊重**》です。

基本的人権としての男女平等の意識を身につけることができるよう、保育園や幼稚園、小学校、家庭・地域・職場など、あらゆる機会や場面をとらえて、《**意識改革のための啓発・情報提供**》に取り組んでいきます。

固定的な性別による
役割分担意識に
とらわれない人の割合



「気づき」のための学習会「ステキな私発見セミナー」は、自分らしく輝いて生きるような願いを実現するための第一歩としていただくための研修会。今年は7月8日と15日に六角館で約50人を対象に開催されました。

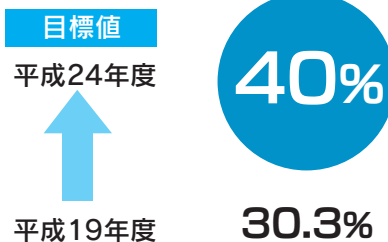


▲7月15日、六角館で開催された研修会の様子

■行動その2 みんなで話し合い、みんなで決める

社会の中では、男女はともに対等な構成員であることから、大切なことを決めるときには、男性の意見も女性の意見も反映させていくことが重要です。そのため《**政策・方針決定の場への女性の参画促進**》に取り組んでいきます。

市の審議会等の女性委員の割合



今年度から市の農業委員として活躍いただいている中島一枝さん（現在、ご夫婦で水稲を20町、麦・大豆を6〜7町つくられている専業農家）に、審議会に参画する思いや、会議で心がけていることなどを伺いました。



中島一枝さん（公園町）

楽しむ気持ちを持って

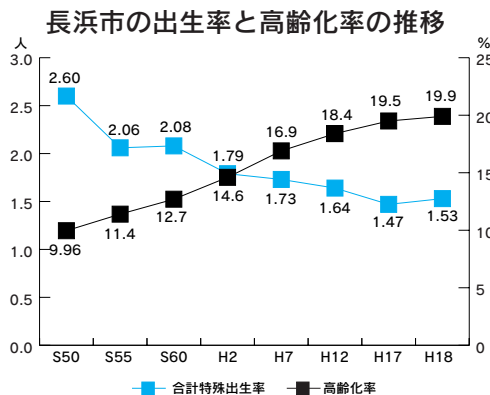
「男は外、女は内」という意識がまだまだ根強く残っていることから、審議会などの委員になることに抵抗を感じる女性が多いと思いますが、ちよつと考え方を変えてみると、意外と簡単に無くなるものです。確かに男性ばかりのところでは女性が発言するのは勇気が必要で、話しづらい時もあります。でも、家族の理解と協力のもと、審議会等に参画することで、いろいろなことが勉強でき、自分の能力を高めることにつながっています。また、そういった場での出会いを通して大切な友達も増え、私の楽しむ機会・経験が増えました。

みなさんも、性別による役割分担意識にとらわれず、楽しむ気持ちを持って、なりたてい自分を探してみたいかがでしょうか。

■行動その3 生活のバランスをとる

少子高齢化が進む中、育児や介護など家庭での負担増が予想されています。しかし、男性は職場中心の意識・ライフスタイルが多く、女性の多くが家事・育児・介護などの部分を担っているのが現状です。これでは、少子高齢化社会に対応することはできません。

そこで、《**男性も女性も共にさまざまな場面に参画**》し、ひとりひとりの能力を活かすことが求められます。



社会に対応するために重要な労働力を確保するため、働きたい人が生きる仕事に就き、個性と能力を十分に発揮できる職場環境が必要です。

そのため職場では、男女の均等な機会の提供や、《**育児休業制度・介護休業制度が取得しやすい環境**》を整えるなど、ひとりひとりのライフスタイルに応じた働き方が選択できるよう、事業所や労働者の方に情報提供などの支援に努めます。

《**地域社会**》の場面も、互いに協力し、担いあうことが大切です。さらに、少子高齢化

まずは「あいさつ」から



月ヶ瀬義雄さん（ワボウ電子）

当社では育児休暇だけでなく、さまざまな取り組みを行っています。そうした取組がうまくいくための第一歩は、「あいさつ」をすることです。あいさつをするということは、相手への感謝の気持ちを表すことなので、それができないということは相手を思いやれないということになります。

だから、男性も女性も日本人も外国人もみんなが明るく楽しく働ける職場にするためには、「あいさつ」がしっかりとできる職場をつくること、一番だと思います。それができないようではどんな取り組みをしてもうまくいかないのではないのでしょうか。

何かを率先して行おうとする時には勇気が要るものです。挨拶もそうでしょう、まず、ごく当たり前のことを当たり前にできるように徹底することから始められてはいかがでしょうか。

■行動4 助けあってかがやいて



▲7月28日、市役所の会議室で

ボランティアによる意識啓発「は〜とくるハート」

平成17年に男女共同参画に関心の高い市民によって結成されたボランティアグループ。男女共同参画や人権に関する朗読劇などを地域の学習会などで上演し、意識啓発に活躍されています。また、7月28日の「市長と気楽にトーク」では、朗読劇の後、「男女が互いに助け合うことの大切さ」というテーマで懇談をされました。市長は、「朗読劇はあつたかい雰囲気があり、とてもよかった。市民との協働によるまちづくりを進めるためには、こういった活動が重要なので、もっと頑張っていたきたい。」と激励されました。